

東海地域における地震予知

—観測データの変化に応じた地震予知情報等の発表—

観測

東海地域に設置した、地震や地殻の状況を精密に測定する観測測器

地殻岩石歪計
地震計
など

前兆現象 (前兆すべり) の把握



気象庁での監視

情報発表

地震発生

- ★前兆すべりが急激に進んだ場合
- ★前兆すべりが小規模であった場合 など、予知に関する情報を発表できない場合があります。

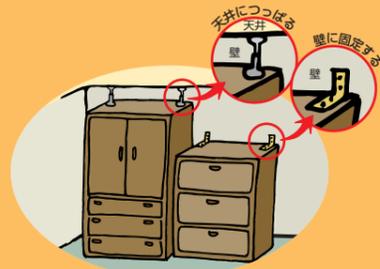
東海地震への備え

東海地震直前予知のための観測技術等は年々進歩していますが、現状では直前予知ができる場合と、できない場合があります。

直前予知の可能性に関わらず、いつ地震が発生してもしっかり対応できるよう、日頃から備えておくことが大切です。

○ 自宅等の耐震性を確認しましょう。

- 耐震診断を行い、自宅の耐震性を確認しましょう。
- 耐震性に問題があるとわかった場合は、耐震改修を行いましょう。(詳しくは市町村の建築窓口へ。)



○ 家具の固定をしましょう。

- 阪神・淡路大震災やその後の大きな地震でも多くの人々が家具の転倒等でケガをされています。家具は必ず固定しましょう。
- 寝室に重い家具を置かないなど、家具の配置にも気を配りましょう。

○ 食料・飲料水の備蓄をしましょう。

- 食料品は7日分程度、飲料水は最低3日分は用意しましょう。



○ 地域の防災活動に参加しましょう。

- 日頃から地域の防災訓練に参加しましょう。
- いざというときの避難場所や救出救助活動について家族や地域で話し合しましょう。

東海地震に関連する情報

—防災対応等に結びつく情報—

この情報は平成16年1月5日から運用を開始します。
すべての情報は、自治体の広報やテレビ・ラジオ等を通じて住民の方に伝えられます。

情報名	主な防災対策
東海地震観測情報 観測された現象が東海地震の前兆現象であると直ちに判断できない場合や、前兆現象とは関係がないことがわかった場合に発表されます。	●防災対応は特にありません。 ●国や自治体等では情報収集連絡体制がとられます。 住民の方は、テレビ・ラジオ等の情報に注意し、平常通りお過ごし下さい。 (防災準備行動開始)
東海地震注意情報 観測された現象が前兆現象である可能性が高まった場合に発表されます。	●東海地震に対処するため、以下のような防災の準備行動がとられます。 ○必要に応じ、児童・生徒の帰宅等の安全確保対策が行われます。 ○救助部隊、救急部隊、消防部隊、医療関係者等の派遣準備が行われます。 ●気象庁において、東海地震発生につながるかどうかを検討する判定会が開催されます。 住民の方は、テレビ・ラジオ等の情報に注意し、政府や自治体などからの呼び掛けや、自治体等の防災計画に従って行動して下さい。
東海地震予知情報 東海地震の発生のおそれがあると判断した場合に発表されます。	●「警戒宣言」が発せられます。 ●地震災害警戒本部が設置されます。 ●津波や崖崩れの危険地域からの住民避難や交通規制の実施、百貨店等の営業中止などの対策が実施されます。 住民の方は、テレビ・ラジオ等の情報に注意し、東海地震の発生に十分警戒して、「警戒宣言」及び自治体等の防災計画に従って行動して下さい。

危険度

各情報発表後、東海地震発生のおそれなくなると判断された場合は、その旨が各情報で発表されます。